

連合九州ブロック第8回ユースラリー in 熊本

ユースラリーとは、各県の青年活動家が一堂に集い、地域や職場を超えた交流を行うことにより、人脈の形成とリーダーの育成をはかることを目的に、連合九州ブロック連絡会が開催しています。今年は9月30日(土)～10月1日(日)の2日間、熊本県において開催され、九州各県から48名が参加しました。今年はテーマを「防災学習」とし、1日目は熊本地震震災ミュージアム「KIOKU」(南阿蘇村)に行き、地震の記憶や経験・教訓について学びました。2日目は、城彩苑を拠点に、「今こそ見てほしい熊本城」をテーマに、熊本城の復旧状況の見学と、熊本地震の際に

連合本部のボランティアベースキャンプの運営をされた肥後有明地協の勢田顧問と入江事務局長を講師に、「ベースキャンプ運営から学ぶこと」と題しての講話を聞いたあと、この2日間で見えて・聞いて・感じたことについてのグループワークを行いました。

今回は熊本県が開催地となったため、連合熊本の青年委員会と女性委員会が協力し、移動のバス車内での案内役から夕食懇親会での司会進行やゲームの運営などを担当し、他県の青年層との交流も含め、こちらでも貴重な経験をすることができました。



熊本参加者



9:30 防災学習



最後に集合写真



連合ベースキャンプから学ぶこと講話



震災ミュージアム



10.1 防災学習

北方領土返還を求める集会に参加し、改めて平和の大切さを実感 平和行動 in 根室

9月9日(土)～9月10日(日)の2日間、根室市において「連合2023平和行動in根室」が開催され、全国から863名の仲間が参加する集会となりました。連合熊本からは5名が参加しました。1日目の北方四島学習会では、北方領土問題に対する理解を深め、北方領土返還要求運動を進めるため、北方領土問題の経緯や現状、課題と展望について学び、元島民が故郷・北方四島に寄せる想いを聞く「北方四島学習会」に参加しました。2日目は、北方領土(択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島)の返還や日ロ平和条約の締結を求める平和ノサップ集会に参加しました。連合が開催する2023年の平和4行動(沖縄、広島、長崎、根室)は、これですべて終了しました。参加した方に感想を書きいただきましたので、その一部をご紹介します。

今回の平和行動で、活動を継承していく事の大切さを改めて感じました。学習会が開催された交流センター「ニ・ホ・ロ」は、「日本とロシアをつなぐ北海道」の頭文字から名づけられているそうです。諸外国と健全な関係を構築するために、私たちひとりひとりが正しい理解を深めることが大切であると学びました。

学習会の講演で、「元気なうちに孫たちを連れてお墓参りに行きたい」という元島民の方の言葉が胸に刺さり、連合として日本国民の一人として、粘り強く北方領土返還運動を継続していかなければならないと切に願いました。他の産別・職場の方と交流を深めることもでき、私にとって実りある平和行動in根室でした。

初日の学習会では、これまでの経緯と今後の連合としてのかわりを学習することができました。集会では「北方4島返還」だけではなく、「竹島問題」や「沖縄の平和活動」などそれぞれの現地の思いの熱量に感銘を受けました。今回、行動に参加でき、平和への思いが深まる良い機会となり、今後ともかわり続けたいと思います。



【根室行動参加者】※敬称略

福永浩之(UAゼンセン)、成松真吾(情報労連)、田中伸仁(県南地協)、友田孝行(連合熊本)、猿渡研一(連合熊本)

最低賃金改正の周知を！

4年ぶりにティッシュ配布でアピール活動を実施

10月8日から熊本県の最低賃金が45円引き上げられ、時給898円になることから、熊本地方最低賃金審議会の公労使メンバーによる周知活動を9月29日(金)に熊本駅で実施し、連合熊本からも労働者代表として5名が参加しました。当日は8時前からJR熊本駅に集合し、最低賃金が変わることが記載されたチラシを入れたポケットティッシュ 1,500個を配布しました。

最低賃金は、パートや学生アルバイト、外国人技能実習生などすべての労働者に適用される賃金の下限額です。熊本



県最賃の45円アップは、時給方式となった2002年度以降で最大の引き上げ幅となりました。



「第23回食とみどり・水を守る熊本県民集会」を開催

食とみどり、水を守る熊本県民会議

食とみどり、水を守る熊本県民会議(事務局は国公連合)により、10月7日(土)、熊本県労働者福祉会館において「第23回食とみどり・水を守る熊本県民集会」を開催され、連合熊本の構成組織組合員を中心に



講演の増井太樹氏

約50人が参加しました。

集会では、公益財団法人 阿蘇グリーンストックの増井太樹専務理事により「水と緑を守る阿蘇グリーンストックの取り組み」と題して記念講演が行われました。講演では、「阿蘇の草原は他では見られない素晴らしい景観を有するだけでなく、貴重な生物を保全するのに必要な環境であること、地下水を作るうえで森林よりも機能が大きいことなどの、多面的な機能を有している。しかし、そもそもの畜産振興と

いう目的が小さくなる中で、地域の人々による保全活動が取り組みにくくなっている。そのような中、ボランティアによる支援によりカバーする取り組みの重要性が増しているが、地域の人々の要請に応じた対応をすることを大切にしながら取り組んでいる。」といった取り組みの必要性や工夫について説明されました。参加者は熊本県民の宝である阿蘇の草原を守るために自分たちが何ができるのかを考える機会となりました。

出口慎太郎氏(衆院選熊本1区)の推薦、橋村いか氏(衆院選熊本3区)の支持を決定

連合熊本は8月18日(金)に開催した第23回執行委員会で第50回衆議院議員選挙熊本第1区の予定候補者として出口慎太郎氏の推薦、9月19日(火)に開催した第24回執行委員会において熊本第3区の予定候補者として橋村りか氏の支持を決定しました。各予定候補者の支援の輪を広げていきましょう。



出口 慎太郎氏
新人・立憲民主党・41歳

推薦
第50回衆議院議員選挙
熊本第1区



橋村 りか氏
新人・社会民主党・51歳
(熊本教育ユニオン組織内予定候補)

支持
第50回衆議院議員選挙
熊本第3区

編集後記

昔、北海道を旅行したことがあります。富良野や美瑛町をドライブすると、さすが北海道といった景色を堪能できましたが、あわせて私たちの阿蘇外輪の草原は北海道有数の眺めにも決して負けない景観であると感じたことを覚えています。

草原は千年もの間、阿蘇の人たちの営みの中で保たれてきたものですが、畜産業の衰退や住民の高齢化の中で、維持できなくなると心配する深刻な時期があったようです。そんな中で阿蘇グリーンストックの活動が始まり、今では毎年千人を超す野焼きボランティアの応募があるそうです。そのおかげで今年も美しいススキの海を見ることができました。この活動を立ち上げた当初のみなさんのご苦労、そして現在の役員の方々のみなさんの活動に感謝し、一つでも自分に出来ることがあれば協力できたらと思います。(talk to me)

Topics RENGOKUMAMOTO

連合熊本第18回定期大会を開催します

日時 2023年10月27日(金)
13:30より
場所 ANAクラウンプラザホテル
熊本ニュースカイ
熊本市中央区東阿弥陀寺町2
電話096-354-2111
提案予定の議案書を各構成組織にお示ししています。
みなさまのご意見をお待ちしています。

今後の主なスケジュール

10月19日 連合熊本
第5回国民運動委員会
23日 公認会計監査報告
27日 連合熊本第25回執行委員会
〃 連合熊本第18回定期大会
11月9日 連合熊本女性委員会
第10回幹事会
11日 連合熊本青年委員会
スポーツ交流会
15日 連合熊本・県労福協
合同会議
〃 連合熊本第1回執行委員会
29日 連合熊本・県労福協
合同研究集会